



平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月28日

上場取引所 東

上場会社名 日本プロセス株式会社

コード番号 9651 URL <http://www.jpdc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上石 芳昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括

(氏名) 坂巻 詳浩

四半期報告書提出予定日 平成29年1月12日

配当支払開始予定日

TEL 03-5408-3351

平成29年2月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第2四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	2,409	△13.2	128	△48.1	150	△44.2	96	△44.7
28年5月期第2四半期	2,775	1.5	247	△0.0	269	2.5	175	9.6

(注) 包括利益 29年5月期第2四半期 280百万円 (21.7%) 28年5月期第2四半期 230百万円 (24.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	19.68	—
28年5月期第2四半期	35.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	9,069		8,193		90.3	
28年5月期	9,146		8,011		87.6	

(参考) 自己資本 29年5月期第2四半期 8,193百万円 28年5月期 8,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	15.00	—	20.00	35.00
29年5月期	—	17.50	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,642	0.4	393	△7.7	446	△7.0	296	△2.9	60.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年5月期2Q	5,745,184 株	28年5月期	5,745,184 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年5月期2Q	822,634 株	28年5月期	822,634 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年5月期2Q	4,922,550 株	28年5月期2Q	4,922,550 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や雇用・所得環境の改善傾向は見られるものの、新興国や資源国経済の減速に加え英国のEU離脱懸念も影響し、先行きが不透明な状態で推移しました。

情報サービス産業におきましては、企業収益の改善を背景として、大企業・非製造業などを中心にソフトウェア投資は緩やかな増加傾向で推移しました。

こうした環境の中、当社は、「社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する」を中期経営ビジョンとする中期経営計画（平成27年6月～平成30年5月）に基づき、IoT、自動車、環境・エネルギーをキーワードとし次なる中核ビジネスに注力すること、継続的な発展のために人材へ重点投資することに取り組んでまいりました。注力分野としている自動車では、これまで、制御システム事業部においては車載制御システム開発、組込システム事業部ではモバイル端末や車載情報システムの開発により関連する技術を長年蓄積しており、前期には、社内の技術を結集して先進運転支援システム（ADAS）分野の車載カメラシステム開発に参画しました。こうしたことから、当期より各事業部の自動車関連部門を結集して自動車システム事業部を新設し、自動車システム事業の拡大と技術者育成の強化に取り組んでおります。

また、これまで継続してきたソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることで顧客に最大のメリットを提供するという基本方針については、各ビジネスユニットごとに目標と評価方法を明確にし、計画に従ったPDCAサイクルを回す取り組みも継続して推進しております。

経営成績につきましては、請負開発が多い特定情報システムと制御システムの交通関連で第3四半期以降に検収される案件が多いことに加え、全社的に前期より売上が下期偏重傾向にあること、自動車システムの車載情報システムで機種開発が収束したことなどで、売上、利益ともに前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,409百万円（前年同期比13.2%減）、営業利益は128百万円（前年同期比48.1%減）、経常利益は150百万円（前年同期比44.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は96百万円（前年同期比44.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

（制御システム）

制御システムでは、エネルギー関連は、火力発電所向け監視・制御システムでは作業量が減少しましたが、電力広域システムで作業量が増加しました。また、プラント制御用コントローラーシステムは横ばいで推移し、エネルギー関連全体では、売上、利益とも前年を上回りました。

交通関連は、新幹線の運行管理システムは保守フェーズが継続し横ばいで推移しましたが、在来線の運行管理システムは第3四半期以降に検収される案件が多いため、交通関連全体では、売上は前年を下回りました。一方、利益は効率よく開発を進めたことなどで横ばいとなりました。

この結果、売上高は389百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は97百万円（前年同期比36.1%増）となりました。

（自動車システム）

自動車システムでは、車載情報システムは通信ミドルウェア開発は横ばいで推移しましたが、機種開発が収束し体制を大きく縮小しました。車載制御システムのエンジン制御で一部の検収が第3四半期になったものの、無段階変速機（CVT）制御は堅調に推移しました。また、先進運転支援システムの車載カメラシステムも堅調に推移しましたが、自動車システム全体では、社内外の技術者を計画通りにアサインできなかった影響もあり、売上、利益とも前年を下回りました。

この結果、売上高は544百万円（前年同期比15.7%減）、セグメント利益は91百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

（特定情報システム）

特定情報システムでは、先進運転支援システムの画像認識システムは堅調に推移し、地理情報関連は横ばいで推移しました。一方、危機管理関連は方式設計業務でピークを過ぎ作業量が減少したことや、一部の案件で開発フェーズが終了し体制を縮小したことなどで、売上、利益とも前年を下回りました。

この結果、売上高は153百万円（前年同期比41.8%減）、セグメント利益は21百万円（前年同期比61.2%減）となりました。

(組込システム)

組込システムでは、ストレージデバイス開発は企業向けで新たにファームウェア検証を受注したものの、コンシューマー向けやHDD開発で作業量が減少しました。また、先進運転支援システムの車載カメラ基盤システムと、医療向けシステムは堅調に推移しました。一方、ストレージサーバー開発は作業量が減少し体制を縮小したため、売上、利益とも前年を下回りました。

この結果、売上高は279百万円(前年同期比13.4%減)、セグメント利益は53百万円(前年同期比28.5%減)となりました。

(産業・公共システム)

産業・公共システムでは、駅務機器開発とICカード開発は堅調に推移し、文書管理システムは横ばいで推移しました。準天頂衛星システムは試験フェーズに入ったことで体制を縮小しました。また、スポーツ関連システムとコンビニ関連システムは開発が終了し保守フェーズが継続していることや、鉄道子会社向けのエンジニアリングサービスで作業量が減少し体制を縮小したことなどで、売上、利益とも前年を下回りました。

この結果、売上高は582百万円(前年同期比8.2%減)、セグメント利益は141百万円(前年同期比10.9%減)となりました。

(ITサービス)

ITサービスでは、検証業務は戦略的に製品検証業務から構築業務に軸足を移しているため、売上、利益とも前年を下回りました。構築業務は堅調に推移し、保守・運用業務は会計システムで作業量が減少しましたが、その他は堅調に推移しました。

この結果、売上高は458百万円(前年同期比10.6%減)、セグメント利益は73百万円(前年同期比27.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて77百万円減少して、9,069百万円となりました。この主な要因は、賞与の支払い等が生じたことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて259百万円減少して、875百万円となりました。この主な要因は、賞与引当金が減少したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて181百万円増加して、8,193百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は、90.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて183百万円増加して、1,444百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、45百万円(前年同期は134百万円の使用)となりました。主な要因は、売上債権の回収等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、236百万円(前年同期は410百万円の獲得)となりました。主な要因は、有価証券の償還等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、98百万円(前年同期は98百万円の使用)となりました。主な要因は、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年7月7日公表の平成29年5月期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,461,029	2,744,601
受取手形及び売掛金	1,341,274	1,219,186
電子記録債権	707,266	439,019
有価証券	1,607,659	1,556,962
仕掛品	111,892	331,363
繰延税金資産	218,927	168,386
その他	61,827	102,209
流動資産合計	6,509,877	6,561,730
固定資産		
有形固定資産	206,194	208,900
無形固定資産	10,883	10,432
投資その他の資産		
投資有価証券	2,178,325	2,037,969
その他	241,700	250,188
投資その他の資産合計	2,420,025	2,288,157
固定資産合計	2,637,103	2,507,490
資産合計	9,146,981	9,069,220
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,623	61,315
未払法人税等	13,381	21,788
賞与引当金	589,618	371,267
その他の引当金	22,511	9,365
その他	330,603	216,696
流動負債合計	1,013,738	680,433
固定負債		
引当金	79,332	73,125
その他	42,058	122,170
固定負債合計	121,391	195,296
負債合計	1,135,129	875,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,851,275	4,849,693
自己株式	△754,212	△754,212
株主資本合計	7,910,320	7,908,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,531	284,751
その他の包括利益累計額合計	101,531	284,751
純資産合計	8,011,852	8,193,489
負債純資産合計	9,146,981	9,069,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
売上高	2,775,352	2,409,453
売上原価	2,196,226	1,934,260
売上総利益	579,125	475,192
販売費及び一般管理費	331,895	346,762
営業利益	247,230	128,429
営業外収益		
受取利息	12,006	11,129
受取配当金	3,873	6,037
保険解約返戻金	4,804	2,908
その他	2,025	2,094
営業外収益合計	22,710	22,170
営業外費用		
その他	30	—
営業外費用合計	30	—
経常利益	269,910	150,600
特別損失		
固定資産除却損	454	0
特別損失合計	454	0
税金等調整前四半期純利益	269,456	150,600
法人税、住民税及び事業税	4,135	4,035
法人税等調整額	90,302	49,696
法人税等合計	94,437	53,731
四半期純利益	175,019	96,868
親会社株主に帰属する四半期純利益	175,019	96,868

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	175,019	96,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,043	183,220
その他の包括利益合計	55,043	183,220
四半期包括利益	230,062	280,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	230,062	280,088
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	269,456	150,600
減価償却費及びその他の償却費	11,896	10,441
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	454	0
受取利息及び受取配当金	△15,880	△17,166
引当金の増減額(△は減少)	△319,171	△237,703
売上債権の増減額(△は増加)	439,950	390,334
たな卸資産の増減額(△は増加)	△64,593	△219,470
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,979	3,692
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△14,319	△11,457
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△65,214	△63,090
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△185,516	△10,829
その他	△6,829	△4,899
小計	45,252	△9,549
利息及び配当金の受取額	25,182	25,181
その他の収入	9,917	8,425
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△214,659	21,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	△134,307	45,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	△1,300,000
定期預金の払戻による収入	800,000	1,200,000
有価証券の売却及び償還による収入	200,000	750,000
有形固定資産の取得による支出	△2,468	△11,225
無形固定資産の取得による支出	△1,887	△1,300
投資有価証券の取得による支出	△184,784	△401,270
その他	99,420	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	410,280	236,204
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△98,270	△98,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,270	△98,393
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	177,702	183,572
現金及び現金同等物の期首残高	812,692	1,261,029
現金及び現金同等物の四半期末残高	990,395	1,444,601

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	394,517	646,317	264,166	323,425	634,092	512,833	2,775,352
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	394,517	646,317	264,166	323,425	634,092	512,833	2,775,352
セグメント利益	71,440	119,924	56,378	74,913	159,178	102,392	584,229

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	2,775,352
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,775,352
セグメント利益	△336,998	247,230

(注) 1. セグメント利益の調整額△336,998千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△331,895千円及びその他△5,103千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	389,877	544,908	153,798	279,946	582,306	458,616	2,409,453
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	389,877	544,908	153,798	279,946	582,306	458,616	2,409,453
セグメント利益	97,233	91,099	21,860	53,572	141,771	73,966	479,505

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	2,409,453
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,409,453
セグメント利益	△351,075	128,429

(注) 1. セグメント利益の調整額△351,075千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△346,762千円及びその他△4,312千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営の合理化及び事業の効率的運営を図るため、組織変更を行ったことに伴い報告セグメントの区分を見直しております。

変更点としては、「制御システム」、「組込システム」に含めておりました自動車関連事業を、「自動車システム」として独立した報告セグメントとしております。また、従来の「交通システム」を「制御システム」に統合しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

第1四半期連結累計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	292,644	△9.4
自動車システム	453,808	△13.8
特定情報システム	131,937	△36.5
組込システム	226,373	△8.9
産業・公共システム	440,534	△7.2
ITサービス	384,649	△6.3
合計	1,929,947	△11.9

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	598,187	+29.8	341,828	+34.8
自動車システム	722,196	△15.4	286,023	△2.4
特定情報システム	209,483	△30.0	126,324	△1.9
組込システム	283,186	△21.7	57,955	△41.6
産業・公共システム	652,949	+6.3	241,598	+27.1
ITサービス	491,187	△1.8	126,948	+3.0
合計	2,957,191	△4.3	1,180,678	+8.5

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	389,877	△1.2
自動車システム	544,908	△15.7
特定情報システム	153,798	△41.8
組込システム	279,946	△13.4
産業・公共システム	582,306	△8.2
ITサービス	458,616	△10.6
合計	2,409,453	△13.2

- (注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立製作所	663,983	23.9	530,168	22.0
株式会社東芝	422,880	15.2	402,894	16.7
日立オートモティブシステムズ株式会社	304,660	11.0	385,377	16.0
アルパイン株式会社	291,752	10.5	—	—

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 当第2四半期連結累計期間におけるアルパイン株式会社に対する販売実績は、総販売実績に対する割合が10%未満であるため記載を省略しております。